



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部・山本 美葉
(代理) 麻酔科・藤田 信子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 山本 美葉

【指導医】

聖路加国際病院 麻酔科 藤田 信子

心臓血管外科手術を受けられた方を対象とした

抜管(気管内チューブ抜去)の時期に関する研究

1.研究の対象

2011年1月から2022年8月までに心臓血管外科手術を施行された方

2.研究の目的・方法

心臓血管外科の手術においては、手術終了後、手術室で挿管チューブを抜管することが、集中治療室への滞在期間や、入院費用を削減することが、過去の研究から知られています。しかしながら、どのような方に対して安全に手術室での抜管を行うことができるかについては十分に調査されていません。今回、心臓手術を行われた方のうち、手術室で抜管された方と集中治療室で抜管された方のデータを調査することで、手術室抜管の危険因子を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、合併症、既往歴、血液検査、心電図、心臓超音波検査、呼吸機能検査、手術前後記録、麻酔記録、等

《試料》 なし